

近畿産業考古学会

The Kinki Industrial Archaeology Society

第 130 号

目次

1. 見学会：堂島・蔵屋敷跡と北浜・金融街を巡る
..... 1
2. 学会誌『近畿の産業遺産』第 17 号 原稿募集
..... 2
3. 2023 年度総会(予告)..... 2
4. 年次大会・特別講演会報告・・・寺島俊之・・・ 2
5. 「三共工作機械資料館」を見学して
..... 二階堂達郎..... 3
6. 【短信】ユニチカ記念館の現況..... 4
7. 学会誌の電子ジャーナル公開について..... 4
8. 2022 年度第 4 回役員会議事録..... 4

見学会：堂島・蔵屋敷跡と北浜・金融街を巡る

江戸期, 中之島と堂島川・土佐堀川沿いには諸藩の蔵屋敷が建ち並んでいたが, 廃藩置県によって明治新政府に接收された。また, 旧藩債務切捨てや地租改正によって多くの蔵元・掛屋・両替商が破産し, 大阪経済は打撃を受けた。蔵屋敷跡には倉庫, 学校, 病院, 火力発電所, 行政機関, 文化施設等が進出, 北浜周辺は近代的な金融街に変貌した。その変化の跡をたどる。

- ・開催日：3月9日(木)(小雨決行, 大雨・荒天の場合は3月23日(木)に延期)
- ・オプション見学の集合：
大阪地下鉄・四つ橋線「肥後橋」駅, 南改札, 11:50
- ・見学先(予定)
 - 日本基督教団大阪教会(竣工; 1922(大正 11)年, 設計; ウィリアム・メレル・ヴォーリズ), 梅花女学園発祥の地
両所とも広岡浅子と関わりが深い。浅子は, 大阪教会で受洗した。梅花女学園は, 校長を務めた成瀬

仁蔵による日本女子大学校(現日本女子大学, わが国初の本格的な女子高等教育機関)の創設に協力した。

正午礼拝(パイプオルガン演奏あり)を見学後, 内部見学(約 30 分)をさせていただきます。



写真 1 日本基督教団大阪教会の外観

・本見学(午後)の集合：

大同生命大阪本社ロビー(1階)・受付前, 13:30
(大阪地下鉄・四つ橋線「肥後橋」駅, 北改札・1-A, 1-B 出口からすぐ)

元禄の頃, この地に本宅を構えた加島屋は, 明治維新以降も, 加島銀行本店, 大同生命大阪本社として業態を変えつつここを拠点に事業を継承している。

・見学先(予定)

- ①大同生命大阪本社(特別展示『大同生命の源流“加島屋と広岡浅子”』)
- ②手形交換所跡・住友銀行(現三井住友銀行)大阪本店ビル
1879(明治 12)年, この地でわが国最初の手形交換が始まった。昭和初め, 跡地に住友銀行本店ビルが建設され, 旧住友財閥の拠点となった。
- ③長州藩蔵屋敷跡, 中津藩蔵屋敷跡・福沢諭吉誕生地【電車で移動】京阪電車・中之島線「中之島」駅→「大江橋」駅



図1 蔵屋敷の分布図(●印) (地図『浪花の繁栄』(財)大阪都市協会より一部抜粋)



写真3 中津藩蔵屋敷跡・福沢諭吉誕生地の石碑

④米会所跡(記念碑)

江戸初期、米の取引は北浜の路上で行われていたが、1697(元禄10)年頃、堂島のこの地に移され、取引所が開設された。わが国最初の取引所で、世界初の本格的な先物取引が行われた。



写真2 米会所跡の米粒を模した記念碑

⑤佐賀藩蔵屋敷跡・船入橋跡、曾根崎川(蜷川)跡、水晶橋(旧堂島川可動堰)

⑥近代中之島・北浜の景観(遠景:日本銀行大阪支店旧館,大阪市中央公会堂,大阪府立中之島図書館など)

⑦大阪株式取引所(現大阪取引所)・金相場会所跡
16:30頃解散。

参加希望者は3月5日(日)までに、事務局宛にメールかFAXにてお申し込み下さい。資料代:500円

途中までの部分参加も歓迎します。京阪中之島線と地下鉄の各駅(中之島, 渡辺橋=肥後橋, 大江橋=淀屋橋等)を經由します。手指消毒を行います。各自、マスク着用し、発熱の場合は参加をご遠慮下さい。

学会誌『近畿の産業遺産』第17号 原稿募集

『近畿の産業遺産』第17号の原稿を募集します。資料の紹介など、論文形式でないものでも結構です。

- ・申込締切日:調査報告・研究ノートなど(論文以外); 2023年2月28日。論文の受付は終了しました。

2023年度総会(予告)

ハイブリッド方式(オンラインでも参加可)で開催を予定しています。コロナ感染状況によってはオンラインのみで開催します。総会議案は書面議決とします。

- ・開催日:2023年4月15日(土)
- ・会場:大阪くらしの今昔館・5階 研修室
- ・午前中の見学会:8階・受付前, 10:30集合(予定). 館内展示(常設展+企画展「大阪の長屋」)の見学。企画展は館の方に案内をしていただきます。入館料:800円
- ・開場・受付開始:13:00
講演前に、会長挨拶、総会議案の説明・質疑応答の時間を設けます。
- ・特別講演:13:30~(予定)
大阪の近代長屋について、この研究分野の第一人者である和田康由氏(元大阪市立高校建築科教諭)にご講演いただきます。
- ・研究発表講演会(発表者募集中)
栗原邸(京都市,登録有形文化財)の紹介ビデオの放映(予定),若林あかね氏。
資料代:500円。詳細は次号でお知らせします。

特別講演会報告

寺島俊之

「近畿産業考古学会見学会の動向」

特別講演者:寺島俊之氏(本会幹事)

2022年11月19日(土), 13:30~15:30

参加者:13名,挨拶:中山会長,司会:岡田副会長,ホスト:貝柄幹事

新型コロナウイルス感染拡大防止のためWeb会議ソフト(ZOOM)で実施した。12年間に及ぶ本会見学会の記録を振り返り今後の学会活動の方向性を提言した。

国内における「産業遺産」は「残業遺産」と言っつてよい。開発設計者の労苦が報われず製品廃棄される状況に心を痛めたことが執筆に取り組んだ動機である。

自己紹介では、後世、執筆者が「謎の人物」と評されないよう本職と生育環境を説明した。

本会主催による見学会は2010年から本年9月まで59回実施された。全ての見学記の執筆経験から、実施

日・見学先・参加人数・エピソード等をExcel ファイルに集計した。主な分析結果は以下のとおり。

- 1) 見学先は大阪府と兵庫県に偏っていた。
- 2) 私鉄でしか到達できない集合場所が多かった。
- 3) 非公開施設の見学は催行回数の6割弱だった。

エピソードでは、再現映像における時代考証に協力した話や、琵琶湖疏水では水生生物もそのまま京都市内に到達する等が紹介された。

これらの実績を踏まえSWOT分析（事業分析ツール）によって、本会見学会を強み・弱み・機会（追い風）・脅威（逆風）とて項目抽出を行い、以下を提言した。

①積極化戦略（強み×機会）

文化財認定への協力。

②差別化戦略（強み×脅威）

産業遺産としての新たな価値の発見。

③改善戦略（弱み×機会）

移動制約者への配慮。

④防衛撤退戦略（弱み×脅威）

ヘリテージツーリズムやバックヤードツアーの監修。

京都・大阪・神戸は水の文化都市である。京都は琵琶湖疏水、水都大阪、神戸は国際港都として語られる。水の文化を近畿の産業遺産として捉え、今後の研究活動に取り組みたいと締め括った。

質疑応答では、古い映像における真正性の検証では産業考古学の立場が必須条件であること、見学先の現在過去の対比調査において見学記の記録性が貴重である等が議論された。

「三共工作機械資料館」を見学して

二階堂達郎

2022年12月1日(木)、中部産業遺産研究会が主催する「三共工作機械資料館」見学会に参加させていただいた。当日の参加者は10名、企画担当者は天野副会長（前産業遺産学会会長、同館監修者の一人）であった。同館を所有する株式会社三共製作所（創業：1938(昭和13)年、設立：1951(昭和26)年5月）は、カムをコア技術とする自動化機器メーカーで、精密減速機、間欠割出装置等を主力製品としている。汎用工作機メーカーではないが、工作機械の重要性を強く認識した創業者、小川良平氏が収集したコレクションを基に、2021(令和3)年、開設された。JR菊川駅の南東、牧ノ原台地東端の緑に囲まれた広大な敷地をもつ三共静岡製作所の一角にある。

工作機械は機械を作る機械（マザーマシン）として近代工業の発展に貢献してきた。同館では17世紀から1950年にかけて主に欧米で製造された歴史的価値をもつ工作機械を展示している。資料館館長の大澤隆氏と天野副会長に案内をいただいた。

展示フロアは、工作機械の登場以前からの発達過程をたどる年表や展示から始まり、80点以上に及ぶ工作機械の展示が中心位置を占める。配置は、(A)普通旋盤・タ

レット旋盤・ねじ切り旋盤、(B)フライス盤、(C)中ぐり盤、(D)ボール盤、(E)形削り盤、(F)歯切り盤、(G)研削盤の7種類に区分されて一列に並べられ、それぞれが年代別に配置されるというマトリクス状をなし、圧巻ともいえる規模である。周辺には、プーリー・ベルト伝導による旋盤等の動態展示や、測定器や精密模型、T型フォード等の車、蒸気発電機（直流）も展示されている。

創業者や関係者の使命感ともいえる熱意がひしひしと感じられる施設・展示である。工作機械に関心をもつ方には必見の資料館である。

翌日、ヤマザキマザック工作機械博物館を訪問した。見学記は次号に寄稿する。



写真1 展示場全景（種類ごとの列の先頭に柱状の案内板が設置されている、）

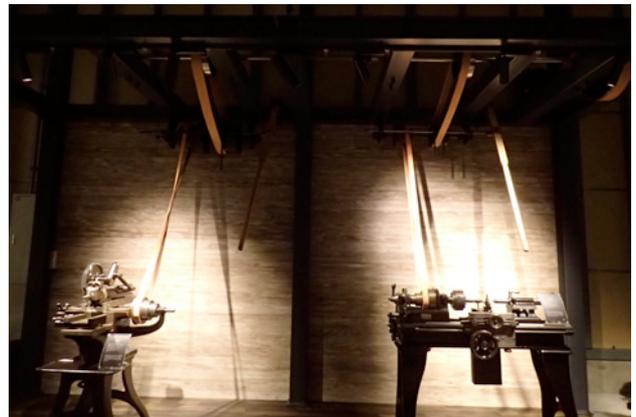


写真2 動態保存された形削り盤（左、Boynton & Plummer(米)社製、19世紀中頃）と普通旋盤（Pratt & Whitney Co.(米)社製、19世紀中頃）



写真3 測定器の展示

- ・所在地：〒439-0018 静岡県菊川市本所 2290 (株式会社 三共静岡製作所内)
- ・見学には予約が必要。
Mail : siryoukann@sankyo-seisakusho. co. jp

【短信】ユニチカ記念館の現況

尼崎市は昨年 11 月 25 日に、ユニチカ記念館の土地を購入、建物の寄付を受ける方針を発表した。購入費は今後、ユニチカ社と協議して決定するとのこと。当初、兵庫県が、建物の無償譲渡を受けて市内の県立公園に移築する案を表明していたが、断念するに至った。市は、これを受けて現地保存の方向でユニチカ社との交渉に臨んでいる。耐震化工事に多額の費用を要するため、当面、保存措置のみになる見通し。



写真1 ユニチカ記念館の現況
(正門前, 撮影：2022/08/12, 寺島俊之)



写真2 ユニチカ記念館の現況
(裏側, 撮影：2022/08/12, 寺島俊之)

煉瓦塀は、すでに 2021 年 3 月時点で正門付近を除いて取り壊され、敷地はフェンスで囲まれている。

学会誌の電子ジャーナル公開について

科学技術振興機構(JST)より提供された2022年10, 11, 12月分のアクセス統計(クローラーによるアクセスを除外)の概要です。

- ・2022年10月：
 掲載論文数(これまでに掲載済みの分)：16
 書誌事項へのアクセス数：合計 115回
 全文PDFへのアクセス数：合計 62回
 (アクセス数が最も多かった論文：書誌事項；20回, 全文PDF；11回)

- ・2022年11月：
 書誌事項へのアクセス数：合計 131回
 全文PDFへのアクセス数：合計 112回
 (アクセス数が最も多かった論文：書誌事項；28回, 全文PDF；21回)
- ・2022年12月：
 書誌事項へのアクセス数：合計 124回
 全文PDFへのアクセス数：合計 292回
 (アクセス数が最も多かった論文：書誌事項；28回, 全文PDF；46回)

2022 年度第 4 回役員会議事録

日時：11月7日(水) 19：20～20：30, オンライン開催
 参加者：中山会長, 岡田副会長, 貝柄幹事, 寺島幹事, 二階堂幹事, 溝口幹事, 若林幹事
 議事：

1. 前回役員会議事録の承認
2. 見学会
 - ・シマノ自転車博物館見学会：参加者数, 16名.
 - ・次回見学会(中之島周辺の街歩き)：2023年2月下旬～3月中旬の平日, 見学先：大同生命特別展示, 大坂蔵屋敷跡, 米会所跡, 手形交換所跡など.
3. 2022年度年次大会(実施要綱の確認)
4. 2023年度総会開催・開催議決方法
 開催日：2023年4月15日(土), 開催方式：オンラインかハイブリッド方式を検討。議案は書面議決とする。
5. 学会誌第17号原稿募集
 申込締切日：論文(査読付)；2022年12月31日, 論文以外；2023年2月28日.
6. 学会誌の電子ジャーナル公開について(報告)
7. ニュースレター129号
 11月上旬に発行予定.
8. 調査・研究について
 関西電力堺港発電所：調査報告をとりまとめ中。津守下水処理場：覚書締結交渉中.
9. その他
 旧長壽會細菌研究所・工場跡見学ツアー。
 次回役員会：2023年1月11日(水), 19：15～.

2023年1月25日発行

編集 近畿産業考古学会 編集委員会

発行 近畿産業考古学会 会長 中山嘉彦

URL : <http://kinias.jp>

事務局 564-8511 大阪府吹田市岸部南2丁目36番1号

大阪学院大学 経済学部 中山嘉彦研究室気付

Tel : 06-6381-8434 (代), Fax : 06-6382-4363 (代)

E-mail : kinias-ec@nifty.com

会費納入先(郵便振替)

口座番号：00950-9-150085, 加入者名：近畿産業考古学会